

平成30年2月20日

宍粟市地域おこし協力隊
隊員各位

宍粟市議会議長 実友 勉

平成29年度第1回総務経済常任委員会「おでかけ市議会」報告書

平成30年1月17日に実施しました第1回総務経済常任委員会との「おでかけ市議会」について、下記のとおり報告いたします。

「おでかけ市議会」で提案されました意見を参考に政策提言に向け、協議させていただきます。

記

1. 開催年月日	平成30年1月17日(水) 午前9時30分～午前11時10分	
2. 開催場所	宍粟市役所 5階 503会議室 (宍粟市山崎町中広瀬133番地6)	
3. 出席委員	飯田吉則、田中一郎、津田晃伸、東 豊俊、大久保陽一、 田中孝幸、西本 諭、実友 勉(議長)	
4. 意見交換を行った 団体の概要	団体名	宍粟市地域おこし協力隊員
	参加人数	5名
	活動内容	1) 自主自立の地域づくり活動への支援 2) 行政関係部署の業務連携支援・連携調整 3) 地域おこし協力隊員自身の定住・定着に向けた資格取得などの活動 など
5. 意見交換を行った 目的	地域おこし協力隊員の皆様に活動を通じての感想等の意見聴取を行う。また、地域づくり・地域おこしの推進に向けた調査研究に資するため、若い世代の方からの意見、移住した感想等を聴取することを目的とする。	
6. 意見交換会で出された主な意見(要約)		
団体からの意見		委員会としての考え方
【地域おこし協力隊制度について】 ・地域おこし協力隊の制度面について 〔良い点〕 ☞地域活性化が共通点であり目標がはっきりしている。		【地域おこし協力隊制度について】 ・地域おこし協力隊の制度面について 〔良い点〕 *制度の目的を理解して来て頂いており、 移住・定住や、起業についても前向きであ

☞移住を希望しても仕事に不安がある。制度を利用することによって、移住へ安心して一歩踏み出しやすい。

☞住環境の整備、柔軟なサポート、移住への理解もしっかり整理され良心的に対応されている。

〔悪い点、お困りのこと〕

☞地域おこし協力隊が知られていない。組織と思われがちで地域の関わり方も整理が必要。

☞活動終了後の生活全般について心配。サポートがあれば定着率も上がるのではない。

☞地域住民への情報及び周知不足を感じる。地域おこしのプロが来るとの認識もあった。

・地域おこし協力隊受入れの宍粟市の対応・支援策について

〔良い点〕

☞市職員が親身に柔軟に対応されており、他市と比較して活動の自由度が高い。

☞月一回の定例会など相談しやすい体制が整備されている。

☞改善を行いながらサポートを受けている。

〔悪い点、お困りのこと〕

☞居宅の決定が遅れた。住むところは大切なことなので、整備した上で募集されていると生活プランが立てやすい。(現在は改善済み)

☞当初は紹介、挨拶回りがなかった。

☞地域に対して制度周知が不十分であった。

☞起業家支援の補助金など支援策の情報提供が

ると感じました。委員会としましても地域活性化、人口減少対策に向け共に頑張りたい。

今後も引き続き、移住を考えておられる方並びに受入れ希望される地域、市内全域に対して地域おこし協力隊制度の親切・丁寧な内容による情報発信に努力されるよう市へ求めています。

〔悪い点、お困りのこと〕

*地域おこし協力隊の役割について、受け入れ側の地域全体に広く周知させる必要があると考えます。

*市として数年間サポートできる仕組み等を市へ提案していきます。

*特に受け入れ当初には、地域と隊員の関わり等について、市の細やかなフォローが必要であると考えます。

・地域おこし協力隊受入れの宍粟市の対応・支援策について

〔良い点〕

*市の対応については、他市と比べても良く、隊員の皆様とも良好な関係であると感じました。

*活動終了後のサポート実施並びに定住や起業などを先例として紹介していかなければならないと感じました。

〔悪い点、お困りのこと〕

*初めての事ではあるが、当初の受け入れ態勢が万全でなかった点は否めません。

*募集段階で、市の起業支援策などについて、応募者に示されていなかったことについて質します。現在、対応できていないようであれば、改善を求めていきたいと考え

<p>前もってあればよかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して良かったと感じられたこと <ul style="list-style-type: none"> ☞活動を通して多くの方に出会えた。 ☞世界観、価値観が変わった。 ☞人との繋がりを学び、コミュニケーション能力が向上した。 <p>【宍粟市に対する印象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな所に魅力（特色）があり、どんな所が活かしきれてないと思われること <ul style="list-style-type: none"> ☞宍粟の観光地をパッケージにして情報発信すべき。情報発信ができていない。 ☞入りにくい雰囲気のお店が多い。 ☞体験できることや滞在スポットが少ない。 ☞豊かな自然、田舎の特色をもっとアピールすべきでは。まちの雰囲気が魅力的であるが生かしきれていない。 ☞町単位、個々の取組みはあるが、結びつきが少ない。地域連携を図るべきではないか。 ・地域特有の風習と思われる所について。また、戸惑いについて <ul style="list-style-type: none"> ☞苗字が数種類しかなかった。 ☞周りの目を気にするところがある。 ☞旧町単位で地域の考え方に差があるように感じる。結び付ける役目、仲人役が必要と思う。 ・宍粟市が目指すべき「まちの姿」について ・若い方に定住いただくために市が取組むべき施策について <ul style="list-style-type: none"> ☞交流人口の増大を図る取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの充実 ・招き入れるような雰囲気の醸成 	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して良かったと感じられたこと <ul style="list-style-type: none"> *中には気づけないこと、それを広く伝えていただきたい。 <p>【宍粟市に対する印象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな所に魅力（特色）があり、どんな所が活かしきれてないと思われること <ul style="list-style-type: none"> *情報の発信力については、委員会においても議論になるところです。引き続き市へ強く対応を求めています。 *自分達が住むまちにもっと誇りを持つことが大事だと感じました。 *いずれも貴重なご意見をいただきましたので委員会においても検討を行い、市へ提案していきます。 ・地域特有の風習と思われる所について。また、戸惑いについて <ul style="list-style-type: none"> *旧町の個々の地域特性が特徴として生かせる仕組みが乏しい部分もあるため、今後の課題として検討していきます。 *市を通じなくても解決できる地域力の向上として、地域でなんでも相談できる仕組みづくりが検討できればと考えます。 ・宍粟市が目指すべき「まちの姿」について ・若い方に定住いただくために市が取組むべき施策について <ul style="list-style-type: none"> *市外から来られた人達を感じられたことも貴重な意見であり、大いに参考として
---	--

- ☞子ども・子育て世代の交流の場の整備。屋内外総合公園が少ないように感じる。
- ☞若者世代への若者向けプログラムを作成し、起業・観光・教育等の充実。
- ☞若者が立ち寄りやすい場所を設置すべき(例えば空き家をリノベーションした若者ハウスなど)。
- ☞宍粟市の知名度の向上と交通手段の確保に努める。(例えば・高速バス利用者にレンタカーの提供・市内名所の周遊バス)
- ☞食の安全性など良い環境を生かしきれていない。
- ☞囲い込みのない雰囲気大切。
- ☞Wi-Fi 環境の整備
- ☞特化・特区を目指すべきである(例えば・カード1枚で宍粟市内で買物・乗り物等利用できる、学割特区、電気自動車特区、民泊特区など)
- ☞本人の将来性を示し、資格取得、企業斡旋等、前向きに UIJ ターンできるような支援団体の設立。
- ☞気軽にゆっくり過ごせる公的なスペースがあればよいと思う。

【ご自身の思い・感想】

・宍粟市を選ばれた理由、求めていたことについて

- ☞自分の移住に対する考え方と宍粟市の方向性が合っていた。
- ☞自然と素朴さ、活動範囲が広く自分を試すことができる。

・今後（任期満了後含む）の活動計画について

- ☞活動終了後も住み続けながら活動を継続していきたい。
- ☞今の活動を広げていきたい。
- ☞市内での就業を考えている。

市の施策を展開すべきと考えます。また、市がチャレンジして行く姿勢を見せて行く事が結果として若い世代の定住につながるのではないかと考えます。委員会としましては、この度のご提案を参考に委員会においても検討を行い、市へ提案していきます。

【ご自身の思い・感想】

・宍粟市を選ばれた理由、求めていたことについて

* 当市とのマッチングが出来た方のご意志に反することがないように今後の募集時の参考とさせていただきます。

・今後（任期満了後含む）の活動計画について

* 市内に住み続けたいとの意向が多いのはありがたいことです。活動終了後の起業や就職についてのフォローもできるかぎり行い、充実した生活を営み、住みやすい

☞宍粟の魅力を発信する活動と就職活動を行い市内に住み続けたい。

☞市内で起業したい。

☞市内に持ち家を構えたい。現在は、起業と就業の両方で検討している。

☞思案中である。

・今後の不安等について

☞定住はしたいが、住居の問題がある。

☞働く場所の確保と生計が成り立つか不安。

☞活動期限が終了したときが不安な気持ちを抱きながら活動している。活動終了後の支援窓口、サポートがあれば、不安なまま活動せず済む。

☞取組めることや資格取得、就職斡旋などあればよいと思う。

まちになるよう、最終的には定住していたらと考えると。また、次なる協力隊員、移住希望者を受け入れ出来るようPRしていきと。考えます。

・今後の不安等について

*活動終了後の住居については、空き家対策との関連で対応策が図れないか委員会としましても検討を行い、市へ提案していきます。

*活動終了後の生活設計については、活動期間中の内に一定の方向性を出せるようにできる限りの支援をして行く事が必要ではないかと考えます。市独自の支援策など安心して活動ができるよう市へ求めていきます。

*移住定住に向けて、意見交換等交流の機会を持ち、不安材料が最小限になるよう、議会・隊員・市・地域が一体となり地域おこし協力隊制度の成功をめざしていきたいと考えます。